

## 第95回新生ふくしま復興推進本部会議第15回福島イノベーション・コースト構想推進本部 合同会議 議事録

- 日時：令和2年3月24日（火）15：30～15：40
- 場所：第一特別委員会室（本庁舎2階）

### 【鈴木副知事】

ただ今から、新生ふくしま復興推進本部会議、福島イノベーション・コースト構想推進本部会議の合同会議を始めます。

議題の1つ目「重点推進計画（案）」について、関係部局長から順に説明をお願いします。まず、企画調整部長。

### 【企画調整部長】

資料1-1を御覧ください。「福島イノベーション・コースト構想を基軸とした産業発展の青写真」を踏まえた重点推進計画の変更（案）についてです。先月25日から今月10日まで、福島特措法に基づく市町村の意見聴取を行ってまいりました。福島イノベーション・コースト構想の具体化の効果を福島全域に波及させるべきとの御意見をいただいたところですが、先月17日の本部会議でお示した内容と大きな変更はありませんでした。

資料1の参考資料を御覧ください。今年度のイノベーション・コースト構想の取組状況です。右上に日本初と記載がありますが、一般のドローン事業者も参画した運航管理システムの相互接続に成功しました。また、福島水素エネルギー研究フィールドの開所ということで、最先端の技術実証を展開し、水素社会のモデルを構築していきたいと考えております。

資料1-2を御覧ください。重点推進計画（案）の概要です。先ほど御説明した内容等の取組を加速するため新年度から新しい重点推進計画の下、あらゆるチャレンジが可能な地域など、3つの柱に基づき、重点の6分野の実用化開発、伴走支援、イノベーション創出プラットフォーム事業など新規事業を加えながら、基本的事項に記載のとおり、浜通り地域等の15市町村における自立的・持続的な経済復興の実現、福島県全域での先端産業の集積による全県的な経済復興の実現、世界に誇れる福島の復興・創生の実現に向け本構想の具体化を積極的に進めてまいりたいと考えています。

資料1-3を御覧ください。重点推進計画の変更（案）について、本日御了承いただけましたら、本日付で復興庁に認定申請を行いたいと考えています。

**【鈴木副知事】**

続いて、商工労働部長。

**【商工労働部長】**

今回の重点推進計画の変更案には、廃炉産業やロボット、エネルギーのほか、浜通り地域等においても高いポテンシャルを有する医療関連産業、航空・宇宙産業についても新たに重点分野に追加しています。

今月31日に全面開所する福島ロボットテストフィールドを始め、各種研究開発拠点を最大限に活用し、これらの重点分野により多くの県内企業が参画できるように、しっかりと取り組んでまいります。

**【鈴木副知事】**

続いて、農林水産部長。

**【農林水産部長】**

農林水産業については、スマート農業・スマート林業の社会実装や、これらの先端技術を活用したビジネスモデルの確立を始め、次世代を担う人材育成や企業参入等の新たな担い手の確保、本格操業を見据えた新たな水産業確立に向けた先端技術の開発・普及等の取組などを新たに盛り込んだところです。

この計画の推進に加え、改正福島特措法の活用や12市町村への国や県による人的支援などを通じて、浜通り地域等の農林水産業の再生をしっかりと進めてまいります。

**【鈴木副知事】**

教育長。

**【教育長】**

本構想を担う人材の育成については、浜通り地域等の高校において、これまで得られた知識や経験を踏まえて、特色ある教育プログラムを実施しております。構想を牽引するトップリーダーや即戦力となる専門人材の育成を更に進めてまいります。

また、義務教育の段階から興味・関心を抱けるよう、理数教育の充実を図るなど、本構想を担う人材育成の裾野を広げる取組を進めてまいります。

**【鈴木副知事】**

今の説明に関して、何かありますか。なければ、原案のとおり進めることといたします。

次に、「風評・風化対策強化戦略【第4版】（案）」について、風評・風化対策監。

**【風評・風化対策監】**

風評・風化対策強化戦略（第4版）（案）について御説明いたします。来年度は震災から10年の節目を迎えることとなりますが、風評・風化の問題は根深く、多くの課題が残されており、粘り強い取組を継続していく必要があることから、強化戦略の改訂についてお諮りするものです。

資料2-1を御覧ください。上段ではこれまでの対策を踏まえ、取組方針として積極的なチャレンジの継続、「アップデート」と「ビジット」の更なる推進、共感・共働による信頼関係の構築の3つを掲げてまいります。第4版では「農林水産物と県産品」「観光」「情報発信」の3つの分野について、これまでの成果や課題を分析した上で、対策強化の方向性を整理いたしました。特に福島ならではの製品のブランド力向上や観光コンテンツづくり、オリ・パラ前後の全庁一体となった集中的な情報発信などに力を入れてまいります。

資料2-2、資料2-3は令和2年度の分野別の具体的な取組、資料2-4は放射線に関するリスクコミュニケーションなどの風評・風化対策の土台の取組、資料2-5は関連事業の年間スケジュールを一覧にしたものです。

本強化戦略の下、引き続き各部局間の連携を密にし、風評払拭・風化防止に取り組んでまいります。説明は以上です。

**【鈴木副知事】**

これについて、何かありませんか。なければ、原案のとおり決定することといたします。議題（1）（2）について、まとめて知事からお願いいたします。

**【知事】**

議題（1）の「重点推進計画」については、新たに追加した医療・航空宇宙を始め、各重点分野に掲げる取組を加速させ、浜通り地域等の新しい産業基盤の構築と世界に誇れる福島の復興・創生の実現に向け、全庁一丸となって取り組んでいきたいと思います。

次に、議題（２）風評・風化対策強化戦略についてです。県産農産物の輸出量や外国人宿泊者数が過去最高を記録するなど、これまでの取組の成果が着実に現れてきています。一方、根強く残る風評や時間の経過とともに進む風化の問題の解決には多くの課題があります。加えて、新型コロナウイルス感染症拡大という新たなリスクも発生しています。

今年は東日本大震災、原発事故から十年目を迎えます。復興が進む一方で、課題も残るふくしまの今と様々な魅力を福島に心を寄せる皆さんとの共働によって積極的に発信し、本県に対する理解が更に深まるよう取り組んでください。

#### 【鈴木副知事】

次に、報告事項です。「ふくしま復興のあゆみの見直し」、そして「新生ふくしま1年の動き」について、企画調整部長。

#### 【企画調整部長】

資料3-1を御覧ください。「復興・再生のあゆみ」です。

これまで「ふくしま復興のあゆみ」については四半期ごとにリニューアルをしまいましたが、今回大幅に資料を改めさせていただきたいと思っております。その趣旨ですが、1ページ、2ページに記載しているとおり、避難指示、産業などの項目ごとに、震災時どのような状況だったか。そして9年経った今どのような状況になったか。そして今の課題は何なのかということ、ストーリーを持って説明できるような資料に再編をしたところです。順次、四半期ごとに進捗状況に応じて内容更新してまいりたいと考えております。

続きまして、資料3-2です。新生ふくしま2020年に向けて、未来予想図ですが、右上の福島ロボットテストフィールドについて、これまでイメージ図でしたが、写真を入れました。また、3月14日に全線開通した常磐線の運転再開につきましても写真を入れたところです。

資料の4です。新生ふくしま1年の動きです。福島県の取組、または復興本部の取組を左側に、国、市町村、関係する取組を右側に記載しています。説明については以上です。

#### 【鈴木副知事】

以上で、合同会議を閉じます。